



謝辞を述べる早川貴彦さん（辻）

電話番号を教え合う姿が
会場のところどころで…

晴れやか 新成人

新世紀初の成人祝賀会が1月8日、町民会館で行われました。この日は、小雨がちらつく悪天候でしたが、会場は振り袖やスーツ姿の新成人で華やいだ雰囲気となりました。

式典では、向後町長から「21世紀は経済変動、国際化、IT革命などいろいろな変革が皆さんを待ち受けていますが、若人らしくその変革を乗り越えて力強く前進されることを期待します。」と祝辞が述べられ、また4人の成人者から20歳の決意が発表されました。（下段に掲載。内容については要約させていただきました。）

式典後、会場のあちこちには、思い出話や近況報告に花を咲かせる友人の輪がたくさんできていました。

向後町長から成人者を代表して土屋怜子さん（橋場）に
記念品が贈られました。

人と人との つながりを大切に

現在私は、家族の元を離れ、東京の大学に通っています。今までとは、景色も時間の流れ方も何もかも違う中で、自分一人で生きていくことは容易ではありません。

ここに来て初めて、周囲の人々に支えられて生きてきたことを実感しました。そして、“人は一人では生きられない、どこかで誰かとつながっている”ことを再認識しています。

20年間生きてきた中で、一番大切に思うこと、それは“人のつながり”です。それ故、将来私は、人の支えとなり、人と人をつないでいけるような、福祉の仕事に就きたいと考えています。

他人の事を考えて、周りの人を幸せにするためには、人間的に成長することが必要です。与えられた貴重な大学生活の中で勉学に励み、様々な経験を積みながら、自分にできる最善の努力をして行こうと思います。

菱木 彩乃さん
（関）

学んでいくこと

大学生になってすでに2年が過ぎようとしています。密度の濃く楽しく、またとてもハードな日々でした。

私は未だはっきりした専攻は決まっておらず、「何の勉強をしているの？」と聞かれるたびに返答に詰まります。すでにはっきりとした目標のもと勉強に励んでいる友人をみればその情熱に圧倒され、あるいは社会にでている友人をみると学生である自分の甘えを感じます。

慢性的に焦りを感じつつも、私が学んだことのすべてが時間をかけて再構築され、何かを創造するにあたり、これからの私の社会との関わりを決めるのだと信じています。

20歳という大きな節目を迎え、自分の中に蓄積されるものがどのような形で世の中に結びついていくのかということ意識しつつ、残された学生生活を有意義に過ごしたいと思います。

小林香津美さん
（入）